

【屋内活動】宝探しビンゴ（館内オリエンテーリング）

雨天時などに館内で行うオリエンテーリングです。館内で宝探しをしながら、三滝少年自然の家や自然についての知識が深まる内容になっています。

- (1) ねらい 三滝少年自然の家や自然についての知識を深める。競い合いの中にもルールやマナーを守ることで、仲間意識を高める。館内での活動になるため、雨天でも活動できる。
- (2) 対象 小学校低学年～大人
- (3) 時期 通年
- (4) 所要時間 競技時間 30分～1時間 説明時間 15分～20分 約1時間30分
- (5) 事前指導
- ・地図の見方を理解させる。
 - ・リーダーを中心にして行動できるチームワークづくりをさせる。
 - ・安全に対する注意力を周知する。
 - ・ルールやマナーを徹底する。
- (6) 服装と準備物
- ㊦動きやすい服装（長袖シャツ、長ズボンが望ましい）、筆記用具
 - ㊧解答用紙
 - ㊨次の物品は所の方でも貸し出します。
地図、解答、解答用紙の原本、バインダー、ゼッケン、図鑑、宝箱
- (7) 指導上の注意事項
- ・個人が勝手な行動をとらず、リーダーを中心によく話し合い、知恵を出し合ってポイントを見つけるようにさせる。
 - ・地図の見方を確認し、正しい判断ができるようにさせる。
 - ・他のチームの妨害、宝箱を隠すなどの反則事項に注意する。ペナルティを設ける、見張り役を立てるなど、対応を工夫する。
 - ・スタート時とゴール時の人員の確認を厳重にする。
 - ・指導者は、事前にコースを下見し、実施時には次の係を決め、安全に配慮する。

スタート係	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前の必要な指示、連絡をする。 ・班ごとにコース図を配布する。 ・各班を順番に、所定の時刻に正しくスタートさせる。 ・スタート待ちの者を掌握する。
ゴール係	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全員が揃っているか確認し解答用紙を提出させる。 ・ゴール時刻を記録し、得点を集計する。
巡回・安全係	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前に出発し、参加者のルール違反には、適切な指導をする。 ・全員通過後、コースその他の異常の有無を確認する。

(8) 競技方法

- 地図を頼りに館内に隠されている宝箱を探す。宝箱の中には、問題が書かれた紙が入っている。解答数を増やし、多くピンゴを達成できたところが1位となる。
- 解答用紙の解答欄は全部で16問。問題数は16問以上あるため団体ごとに変更することができる。
- 宝箱は、縦長かハートの型の缶で、「宝箱」という黄色のタグと、☆のシールが貼ってある。全部で16個ある。
- 基本的には点数を競う競技であるが、タイムを競うことも可能。その場合、スタート方法を工夫することもできる。『一斉スタート』・『時差スタート』など。
- 1つの班は3～5人位が個々の力を発揮しやすいと思うが、こだわる必要はない。
- はじめに宝箱の形状を教えない方が探す楽しみが増える。

◎一斉スタート

- ・ 競技時間に制限時間を設ける。
- ・ 競技者は、どのポストから探しても良く、コース設定はチームの作戦にまかせる。
- ・ 設定された競技時間内にチーム全員が揃って必ずゴールする。メンバーが揃っていないと減点の対象となる。減点は任意で主催者が決めてよい。
- ・ 設定時間内にゴールし、同点の場合は、先にゴールしたチームが上位となる。
- ・ 設定時間を超えてゴールした場合は30秒につき、0点減点することとし、減点数は主催者が任意で決め、事前に参加者に周知しておく。チームで駆け引きの作戦が必要となる。
- ・ 一斉スタート、一斉ゴールであるため、プログラムの時間計画が立てやすい。

◎時差スタート

- ・ チーム毎に時差をつけてスタートする。最低3分以上の時差をつけた方がよい。
- ・ 競技者は、全ポストを探し、正答数と時間の長、短を競うことになる。
- ・ スタート時にスタート係に出発時刻を記入してもらい、ゴール時にゴール係に解答用紙を提出する。ゴール係は、ゴール時刻を記入し、採点する。
- ・ ゴール時にはメンバー全員が揃っている事が条件であり、欠けている場合は最後のメンバーがゴールした時点の時間となる。
- ・ チームによって競技時間に差があるため、プログラムの時間計画を多く取る必要がある。

※その他

- ・ ピンゴゲームのため、答え合わせの工夫をしても良い。また、探す場所を指定してスタートさせる、宝箱の内容を変えるなどの工夫を凝らすこともできる。

【使い方】

- ① 宝箱の中に問題、赤いらミネートは回答です。宝箱を所内に隠します。他団体の活動に影響する可能性がありますので、ゲーム実施場所については事前に職員とよくご相談ください。
- ② 問題をかくす時に次の点に留意してください。
 - 物品を動かさないと見つからない場所は避ける。
 - 高いところ、屋外に移動しないと見つけれない場所や危険が想定される場所は避ける。※ 視線を上げたとき、ふと振り返った時に見つけれられるような場所等、かくす場所を工夫してみましょう。
- ③ スタート地点、ゴール地点、所要時間を設定する。
- ④ ①～③ができれば別紙館内案内図に問題を隠している範囲、スタート、ゴールを記入して地図を作りましょう。
- ⑤ ④の地図と回答用紙を参加者に配布し、ゲームのルール、②の留意点等を説明しましょう。
- ⑥ ゲーム開始後、指導者は参加者の様子を見るためにゲーム会場をこまめに巡回してください
- ⑦ ゲーム終了後は問題・回答を残さず回収してください。